

恵山の火山活動解説資料（令和5年4月）

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○活動概況

・噴気など表面現象の状況（図1、図2-①～②）

監視カメラによる観測では、Y火口の噴気の高さは火口縁上100m以下で経過しており、噴気活動は低調な状態です。

・地震及び微動の発生状況（図2-③～④、図3）

22日19時42分頃に恵山付近を震源とするマグニチュード2.5の地震が発生し、函館市新浜町で震度2、函館市日ノ浜町で震度1を観測しました。この地震の前後で、火山活動に特段の変化は認められませんでした。恵山付近では2019年10月にも同規模の地震が発生しています。

その他の期間では火山性地震は少なく、地震活動は低調な状態です。

火山性微動は観測されていません。

・地殻変動の状況（図2-⑤）

GNSS連続観測では、火山活動によると考えられる変化は認められません。



図1 恵山 南西側から見た山頂部の状況（高岱監視カメラによる）

この火山活動解説資料は、気象庁のホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警戒等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土地理院、北海道大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』及び『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

今回の火山活動解説資料（令和5年5月分）は令和5年6月8日に発表する予定です。

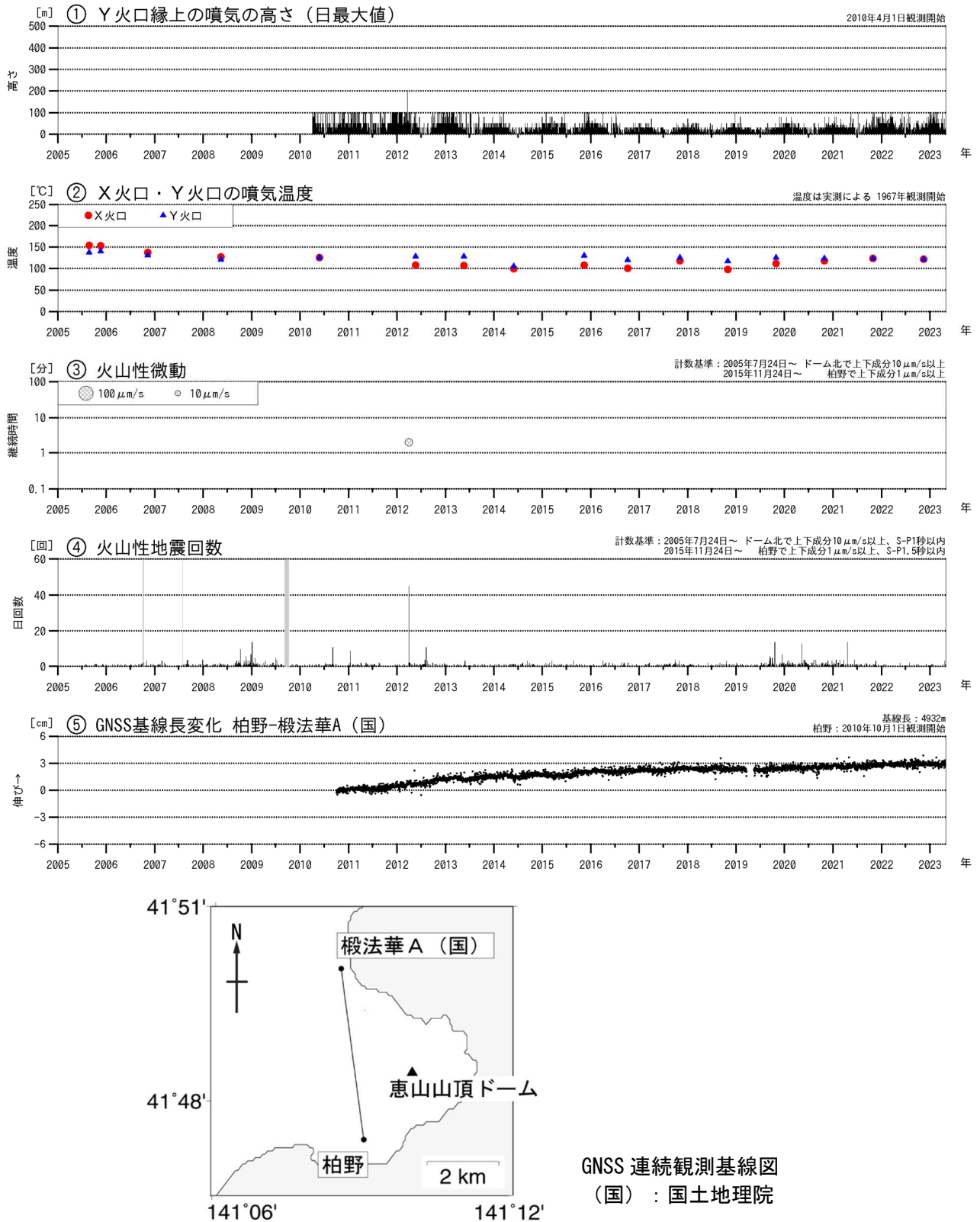


図2 恵山 火山活動経過図（2005年7月～2023年4月）
④の灰色部分は機器障害による欠測期間を示します。
⑤のグラフは上図の基線に対応しています。
⑤のグラフの空白部分は欠測を示します。

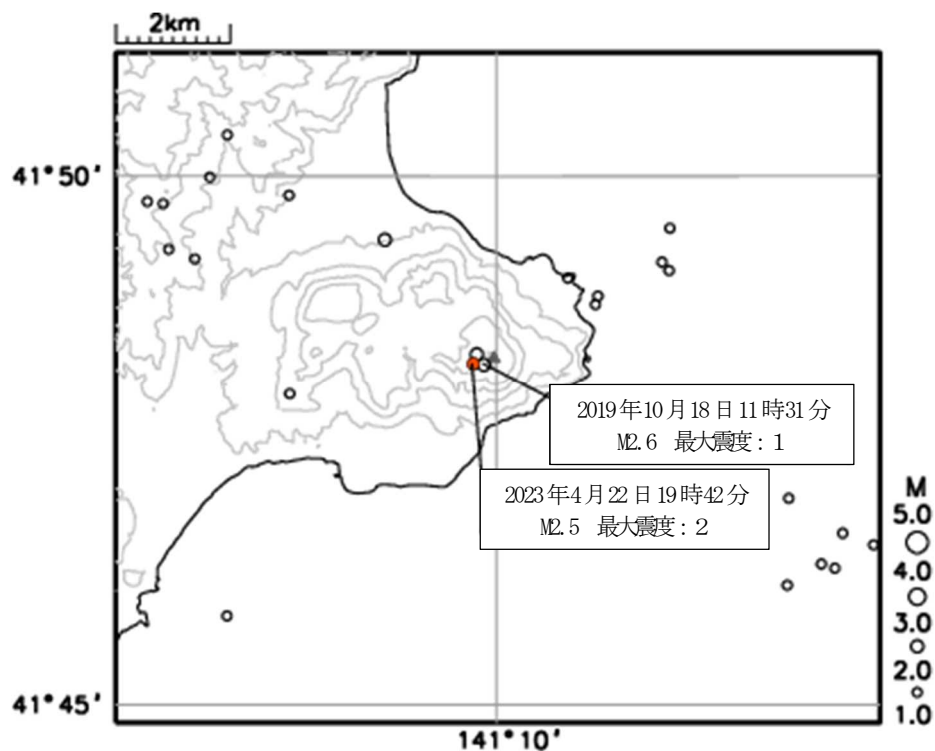


図3 恵山 広域地震観測網による山体周辺の地震活動
 （1997年10月～2023年4月、マグニチュード ≥ 1.0 、深さ20km以浅）
 ○：1997年10月～2023年3月の震源
 ●：2023年4月の震源

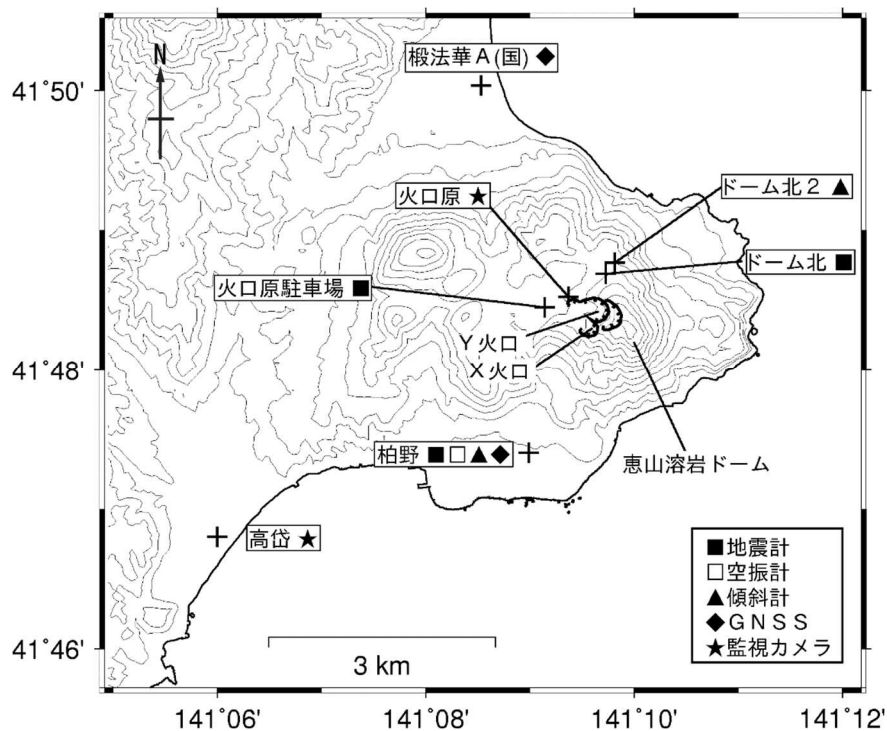


図4 恵山 観測点配置図
 +は観測点の位置を示します。
 気象庁以外の機関の観測点には以下の記号を付しています。
 (国)：国土地理院